佳作 日本で働く夢

ヌルヒダヤティ
NURHIDAYATI
国　　籍　インドネシア
職　　種　非加熱性水産加工食品製造業
実習実施者　株式会社オークワ
監 理 団 体　国際ビジネス情報協同組合

私の名前はヌルヒダヤティ、二十三歳です。私は高校を卒業する前から、日本で働くことを計画していました。二〇一九年に高校を卒業した後、すぐに日本語学校に入学しました。その時、私はまだ十七歳でした。日本で働くには最低十八歳でなければならなかったため、先生に「面接を受けることはできない」と言われました。とても悲しかったですが、それでもできることを諦めずに頑張りました。二〇一九年九月十五日に私は十八歳になるとすぐに面接を受て合格しました。待ちに待った瞬間だったので、本当に嬉しかったです。合格してからは、パスポートの作成や健康診断などの準備をしました。しかし、二〇二〇年にコロナウイルスが流行しました。日本まであと一歩のところで、私達は待機しなければなりませんでした。どんな壁でも絶対に諦めないと心に決めて、出発に備えてオンラインで勉強を続けました。それから約一年が経ち、二〇二一年になっても依然として日本への扉は閉じたままでした。私は何度も先生に「いつになったら日本へ行けますか？」と質問しました。しかし、ある日突然先生から「残念ながら、コロナ影響で内定が出ていた会社は受け入れが難しくなりました。あなた達は日本へ行くことができません」と告げられました。だから、すぐにインドネシアで仕事を始めました。約六ヶ月間金融関係の仕事をしました。二〇二二年の初めに、コンビニで働き始めました。インドネシアで働いている間は、その後は、コンビニで一年間働き終えて、再び日本語学校に通う計画を立てました。しかし、退職する一ヶ月前の二〇二二年十二月二十四日、仕事帰りに交通事故に遭ってしまいました。私は重傷を負いました。療養中、「本当にもう日本で働けないのか？」とずっと恐怖でいっぱいでした。今思えば、私は本当に日本で働きたかったんだと思います。二〇二三年五月、私は日本語学校の校長に「骨折していても日本で働くことはできますか？」と相談しました。すると、校長は「試してみるしかない。もし無理だったら、どうすることもできない」と言いました。以前、日本語を勉強していたので、私はすぐに面接を受けることができ、無事に合格しました。健康診断の結果は問題なく、無事に合格しました。そして、二〇二四年二月十四日に日本へ出発することが決まりました。私も家族も本当に嬉しかったです。何度も試練がありましたが、ついに日本で働くことができるようになりました。今、日本で働いて約一年になります。私は両親を幸せにしています。自分の夢を一つず叶えて行きたいと思っています。日本で働けることがとても嬉しいです。高校生の頃から日本で働くことが私の夢でした。今も日本語を勉強し続けています。日本で長く働きたいからです。三年間日本で働いた後、私はインドネシアに帰って再び日本で働くことを計画しています。私は日本の環境や働き方が好きですから、もっと日本語の勉強を頑張りたいです。